

## 名張市旧細川邸やなせ宿の運営見直しに伴う一時休館について

### 1. これまでの経緯

名張市旧細川邸やなせ宿（以下「やなせ宿」といいます。）は、平成17年3月に策定した「名張まちなか再生プラン」に基づき、名張地区既成市街地の再生に資することを目的に整備され、平成20年に開館しました。

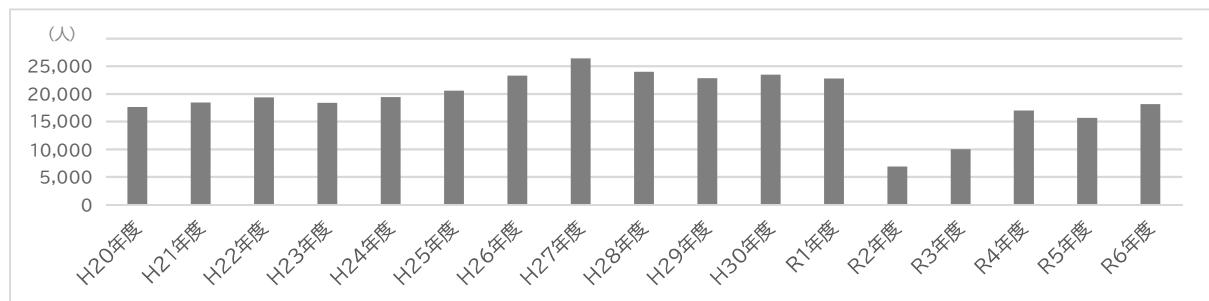
伝統的な町家空間を生かした屋室の貸館や教室、ワンデイレストラン事業などにより、まちなか来訪の機会づくり、人々の交流促進や賑わい創出に取り組んできましたが、近年は入館者数が伸び悩んでいる状況が続いています。

本市では、この状況を受け、令和4年度から「やなせ起点プロジェクト」をスタートさせ、地域、建築の専門家、学術研究機関と共にやなせ宿の利活用を軸としたまちなか全体の活性化を図るための新たなプログラムを試行し、また、やなせ宿の運営方法の見直し及び検討を行いました。

### 《やなせ宿の概要》

整備等の経緯	H17年3月 名張まちなか再生プランを策定 H19年7月-H20年3月 国交省まちづくり交付金を活用して施設整備 H20年6月 やなせ宿開館 H21年1月 登録有形文化財登録 H24年度 国交省「手づくり郷土（ふるさと）賞（一般部門）」を受賞
主な事業	・貸館、展示、各種教室（書道、茶道、太極拳など） ・ワンデイレストラン、レトロ喫茶、駄菓子販売 ・やなせ祭りなどのイベント実施、隠街道市などの地域行事の拠点
管理運営	・委託業務受注者：まちなか運営協議会 ・運営スタッフ：館長、事務員 計7人 ・契約額（委託料）：5,895千円

### 《やなせ宿の利用状況》



## 《やなせ起点プロジェクト概要》

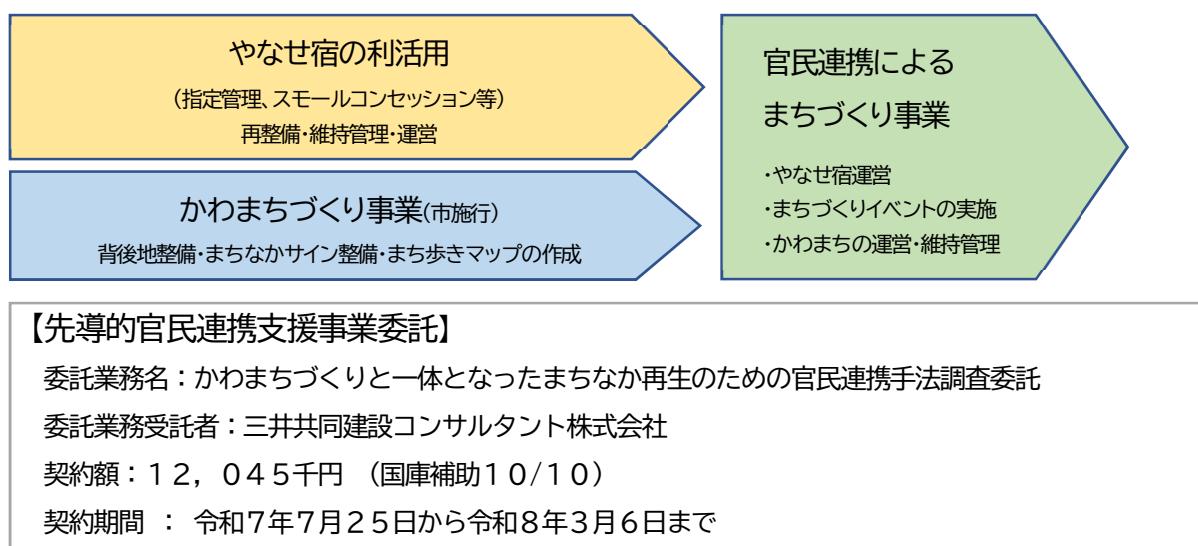
設立趣意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求心力が減退している施設の運用見直しと施設の存在目的の再定義</li> <li>・旧初瀬街道の町並みに点在する登録有形文化財や名張藤堂家邸等の他の資源の効果的な利活用</li> <li>・かわまちづくり計画と連携したまち全体の活性化</li> </ul>
組織	まちなか運営協議会、名張地区まちづくり協議会、地域おこし協力隊、名張まちづくりの会(建築士会)、近大高専田中研究室(教授、学生)、生涯学習室、協働のまちづくり推進室(地域経営室)、都市計画室
試行プログラム	<p><b>【貸館事業】</b> コワーキングスペース利用のためのフリーWi-Fi整備、 コスプレ撮影ロケ地登録(アコロケ)、アコースティック音楽ライブ</p> <p><b>【夜間貸館等事業】</b> 江戸川乱歩作品リーディング公演(演劇)、地酒飲み比べ、街コンイベント</p> <p><b>【まちなか連携イベント】</b> 登録有形文化財ゆかた撮影コンテスト、ひやわい水路マップ作成ワークショップ</p>

## 2. 運営方法の見直しの検討

これまでの運営状況や上表の試行プログラムの分析等により、現行の委託事業を抜本的に見直し、指定管理者制度やスマートコンセッション等を含む民間活力の活用可能性を精査する必要があると結論付けました。

そこで現在、国土交通省の先導的官民連携支援事業を活用し、やなせ宿の新たな運営方法の検討を軸に、かわまちづくり事業と連携した「まちなか」と「かわまち」の一体的活用による、まちなか全体の活性化に向けた官民連携手法の検討を進めています。

(産業建設委員会協議会資料②)



### 3. やなせ宿の一時休館について

先導的官民連携支援事業における運営手法の可能性調査、事業者の選定及び事業内容により日程は異なりますが、新事業の開始に伴い施設改修等に一定の期間を要することが見込まれることから、令和8年4月1日から休館することとします。

なお、休館期間は6か月から1年程度を見込んでおり、休館期間中には、選定した事業の実施に必要となる施設改修のほか条例等の例規整備を行うほか、必要に応じて新事業に係る周知を実施します。

